

令和3年度 学校経営報告

東京都立新宿山吹高等学校 通信制

		令和2年度の取組と自己評価			次年度以降の課題と対応策
柱	教育活動への取組と自己評価	重点目標への取組と自己評価	数値目標等の達成度合い		
			2年度実績 [ ]内は元年度実績		
学習指導	授業力向上	<p>教員・生徒間、生徒同士のやりとり、ICT機器活用、レポート・学習プリント等の活用とおし、生徒に学習への関心・意欲、思考力・判断力・表現力、社会性を育て、基礎学力を定着させ、アクティブ・ラーニングの実践に取組んだ。</p>	<p>○授業研究、校内研修を行い、特に不登校経験者の多い本校で、授業でのやりとりやペアワーク等を行い、思考力・判断力・表現力、社会性を身に付けさせるスクーリングを行なった。</p> <p>○ICT機器の活用方法を研究し、教員間で共有した。</p>	<p>★相互授業見学を全教員が行い、見学報告書のまとめで研修を行った。</p> <p>★4月～5月に全教員の授業をビデオ撮影し、各自で授業を振り返り研究を行った。</p> <p>★本校で行われた通信制・定時制の若手研修等の研究授業を参観した。</p> <p>★通信制の周知を図るため東部相互授業見学データベースに全教員9名が登録した。</p>	<p>▼コミュニケーション力向上のため、授業でのやりとりを進める。</p> <p>▼通信制のあるべきスクーリング、レポート添削の在り方を研究する。</p>
	履修率向上	<p>生徒の個々の状況に応じて、年間とおして最後の最後まで生徒に単位修得をあきらめさせず、組織的に単位の履修・修得等の支援を行った。</p>	<p>○学習状況通知、定期考査後や日常的な面談等とおし、学習・生活状況を生徒や保護者に連絡して、全生徒の単位の履修・修得率を高めた。</p> <p>○毎スクーリング時に「スクーリングかわら版」、毎月「月報山吹通信」を発行した。</p>	<p>★生徒に、個々の状況に応じ、スクーリングへの出席、レポートの提出を促し、保護者等に連絡するなどして、単位修得率は66.5[66.0] %となった。</p> <p>★隔週水曜日に「スクーリング個別指導」を行い、何らかの理由で土曜スクーリングに出席できない者を指導し、スクーリングに慣れさせ、土曜スクーリングに出席させる取組を行った。</p>	<p>▼特に年度当初、スクーリングへの出席を促す指導を保護者と連携して行う。</p> <p>▼レポート、スクーリングを生徒にあきらめさせずに粘り強く指導する。</p>
	生徒による授業評価	<p>教員の資質を向上させ、生徒の授業満足度を向上させた。</p>	<p>○「生徒による授業評価」を年2回実施し、全教員で授業改善を行った。</p>	<p>★授業満足度96%[95%] 学校評価アンケート回収率 生徒18[19]% 保護者14[14]%</p>	<p>▼スクーリング内容、評価方法等について、生徒の実態を踏まえ共有を行う。</p>
	向上力	<p>生徒の学力向上を、全校をあげて取組んだ。</p>	<p>★週案(予定表・授業実数及び指導した。</p>	<p>★授業実数累計)、年間授業計画等を作成し、</p>	
	人間と社会	<p>生徒の地域・社会での活躍の場を広げ、共生社会実現・インクルーシブ教育推進をめざし、「人間と社会」の履修を推進した。</p>		<p>★「人間と社会」のうち4単元を実施し、レポートの指導を行った。</p> <p>★認知症サポート講座、古切手収集、地域清掃、南極観測隊講話等の体験活動を行った。</p>	<p>▼「人間と社会」の演習、体験活動を推進する。</p>
	読書推進	<p>司書教諭を中心に、業務委託による図書館運営を行った。</p>	<p>○図書室の利用率向上を図った。読書習慣を身に付けさせ、言語能力を高め、読書率を高めた。</p>	<p>★ビブリオ委員会で、書評合戦参加生徒を支援した。</p> <p>★図書室や自習室の活用を促した。</p> <p>★年間貸出695[6494]冊(延3746[3748]名)</p>	<p>▼図書室や自習室の活用を更に推進する。</p>
	個人情報管理	<p>成績等の個人情報の管理の徹底と作成の効率化を進めた。</p>	<p>○保有個人情報の紛失防止に取り組んだ。</p> <p>○答案等の管理方法を改善した。</p> <p>○通信制版成績処理ファイルを円滑に活用した。</p>	<p>★教務部を中心に、成績処理推奨ファイル先行実施校として円滑な活用を行った。</p> <p>★都立通信制三連絡会で、通信制ICT化の推進に取組んだ。</p>	<p>▼都立通信制ICT化によるシステム導入を円滑に進める。</p>
生活指導	基本的な生活習慣の確立	<p>生徒の「自己管理能力」を高められるよう、担任・教科担当・生活指導部等からの指導を徹底した。</p>	<p>○都立高校生活指導指針、特別指導の指導計画等に基づき、課題のある生徒に即応し、必要な場合は特別指導を行った。</p> <p>○いじめ防止委員会が「いじめアンケート」を3回行い、地域・保護者と連携して学校サポートチームを開催した。</p>	<p>★エントランス指導、校内巡回等でルール・マナーの遵守を促し生徒を把握した。</p> <p>★時間を意識して行動させるなど、「都立高校生活指導指針」に基づき指導した。</p> <p>★「SNS学校ルール」は、「大切なことは直接会って話そう。」など5項目を、定通生徒会が校内に掲示し周知した。</p>	<p>▼職員室、エントランス、ラウンジ等で、生徒に声をかけ、生徒の意欲を向上させる。</p> <p>▼「SNS学校マナー」を徹底する。</p>
	健全育成	<p>健全育成に向けた取組みを推進し、また特別支援が必要な場合は、全員で対応した。</p>	<p>○カウンセラー・担任・生活指導部・相談部・保健室等が、関係機関と連携して、それぞれの役割を担った。</p> <p>○いじめ、暴力、器物損壊等には、厳しく対応することを生徒に示した。</p>	<p>★カウンセラーとYSWによる新入生全員面談を、相談部が連携して実施した。</p> <p>★7月にYSW、10月にカウンセラー・YSWを講師にした情報交換会を行った。</p> <p>★スクーリングを行った日の放課後に、カウンセラー・YSW・相談部が情報共有した。</p> <p>★セーフティー教室を3回実施した。</p>	<p>▼カウンセラー、YSW、相談部・担任との連携をすすめる。</p>

特別活動・部活動	社会性・協調性の育成	山吹祭(定通合同文化祭)等の行事、学校での発表、部活動、地域貢献・地域交流等とおし、仲間づくり、地域と関わり、ルールやマナーを学ぶ機会を得た。 都大会、定通芸術祭(写真・演劇)等で部活が入賞した。日本舞踊部・伝統文化研究会が、山吹町会三三盆踊り大会・地域交流館まつりに協力した。日頃から、校内、学校周辺に生徒作品を展示し、温かい学校づくりを進めた。	★地域防災訓練等の地域行事に協力し、地域貢献、社会貢献、居場所づくりを促進した。 ★各部活動への参加を奨励し、部活動加入率は15[16]%であった。 ★体罰防止研修に取組み、年2回教員全員面談を行い、スローガン「その怒り6秒待つて」を掲げた。	▼地域交流館等との連携により、地域との関わりを深め、自己有用感を高める。	
健康(ハス)	学校保健安全計画	学校保健安全計画に基づき、生徒の健康づくりを推進した。学校医を迎え、学校保健委員会を2回行った。	★健康診断受診率56[58]%。 ★担任・生活指導部・相談部等が、警察・児童相談所・子ども家庭支援センター・病院等と随時に連携した。	▼施設検討委員会で、生徒の学習・生活環境改善等について検討を行う。	
	健康講話	心身の健康の意識啓発を行った。	★健康講話は、集中講話を3回で計7講座実施した。	▼健康講話で健康の意識を高める。	
	家庭連携	健康で安全な生活を支援した。	★担任・保健室が連携し、保護者や山吹会との連携を推進した。		
進路指導	進路決定者と卒業生の増加	生徒に自己理解を促し、生徒の可能性を発見し、主体的に進路を選択するよう進路指導の充実を図った。 個々のニーズに応じた補習・講習を行った。	★卒業生 106[127]名 ★大学進学率 31[30]% ★進路未定率 18[19]% ★国公立大1名、早慶上智理大0名、GMARCH5名、日東駒専6名合格 ★就職8名内定 ★センター試験出願者50[37]名	▼卒業生 120名 ▼大学進学率35% ▼進路未定率10% ▼センター試験出願者50名 ▼高認・既卒者の進路状況把握 ▼高認での大学受験の支援 ▼キャリアカウンセラーとの連携	
募集・広報活動(地域交流等)	本校の特色の理解推進	本校主催学校説明会、地域や都教育委員会主催の合同説明会等に参加し、本校の通信制の教育活動全般についての広報活動を推進した。	★本校を目指す生徒に情報を正しく伝え、在校生への情報伝達するため、ホームページを247[246]回更新した。 ★学校説明会等参加者数(生徒+保護者) 11月説明会 89[89]組 3月説明会 66[138]組 ※世界的な新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人数を制限した。 ★来校や電話による随時の学校案内等で、受検希望者等に丁寧に対応した。 ★2学期転学・編入学募集では、前籍校で不登校である場合も、全学年で受検を可としている。	▼ホームページ更新 300回 ▼今後も、転入・編入学の応募資格の緩和により、本校受検の機会拡大を維持する。	
学校経営・組織体制・経営企画室の経営	体制組織	学校経営計画の実現と円滑な学校運営ができるよう、企画調整会議を中心に様々な取組みを実施した。管理職によるイクボス宣言を行った。	★定通は、相互併修、保健、部活動、行事等で連携している。 ★働きかた改革に基づき、退勤時刻把握をした。		
	シヤレン雇用	共生社会実現の推進を図った。	★チャレンジ雇用を相談部に位置づけ、実施した。	▼受入れを継続し、連携して取り組む。	
	安全管理	安全管理を推進した。	○安全管理の一環として、外来者、教職員の明確化を図った。	★ネームタグを配布し、全教職員で着用を励行するようにした。外来者にはネームタグを着用していただいた。	▼教職員は笛付ネームタグ着用を推進する。
	行管理	経営企画室長の下に事務処理を効率的に実施した。自律経営推進予算では、特に一般需用費でのセンター利用率・執行率を高めた。		★一般需用費(年度間・執行額ベース) センター利用率 46.2[49.5]% 学校 配付執行率99.4[99.56]% センター配付執行率99.7[99.6]%	▼一般需用費センター利用率50%
	の経営企画室	経営企画室が、学校経営に参画した。	○経営企画室が、校内分掌・委員会に関わり、経営に参画した。 ○トイレの洋式化を進めた。	★経営企画室が、学校保健、防災教育推進、補助金審査、入試選考、ICT、図書館運営等の委員会に参画した。	▼経営企画室が、校内分掌・委員会に関わり、経営に参画する。